



「☆☆親子で遊ぼう☆☆ ちょっと早めのクリスマス」を開催しました



絵本の読み聞かせや親子でペットボトルと布でツリーを作ったり、サンタのおじさんからプレゼントをもらったり、楽しいひと時を過ごしました。【12月21日】

民生委員・児童委員は、地域子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り子育てに関する相談や支援等を行い専門機関への連携・調整も行っています。

子育ての悩みを身近な民生委員・児童委員に、お気軽にご相談ください。(民生委員・児童委員には守秘義務があります)

「民生委員・児童委員はいつもそばにいます」

人権 それは 愛

問合せ／教育文化振興課 ☎990-9011
企画財政課 ☎991-1815

今月は「松伏町小・中学校人権作文集 - 第13集 -」の作品の中から、小学校2年生の作品を紹介します。

友だちっていいな

てつぼうで、足かけまわりをつづけてやっていたら、みんなが、「Aちゃん、すごいね。」って言ってくれて、うれしかったです。

ちがうわざにちょうせんして、しっばいしたときがあります。そのときは、みんなが「がんばって。」って、はげましてくれます。それが、いつもなのでわたしはかんしゃしています。

てつぼうだけでなく、うんていができなかったり、さんすうができたときは、みんなが一言うれいことを言ってくれます。わたしは、友だちって、なんでも言ってくれて、わたしにゆう気をくれるから、すごいなあと思いました。

わたしは、いつも「ありがとう。」と言っています。けんかをしてしまうこともあります。じぶんのすきなことをして、あいてはいやだって言って二人がゆずらなくてけんかになります。そのときわたしは、「いいよ。やっても。」と、やらせてあげます。わたしが、「これをやろう。」と、言ってみんなが、「いいよ。」って言ったら、なかよくあそびます。

一人であそぶおえかきより、二人や三人であそぶてつぼうのほうがたのしいです。友だちがいるっていいな。もっと友だちをふやして、いっぱいあそびたいと思います。

この人権作文は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願って作成されています。

